

NO.	テーマ等	人権教育の視点等
(16)	男女共同参画の視点に立ったキャリア教育の充実	3－(1)－ア 「市民意識」の醸成 3－(1)－イ 個性・能力の伸長
	【活動対象領域等】 職業	【対象者】 特別支援学校高等部 1～3年

1 ねらい

働くことの意味を学び、性別にかかわらず自分に適した仕事をみつけることができる。

2 指導にあたって

- (1) 自分に合った職業を選択するためには、まず、どのような職業があるのかを知り、そこから自分の興味や適性に合った仕事を探す。しかし、障害者の場合は職域が限られがちである。授業では、できる限り職域の可能性を広げるように生徒の意識を高めたい。
- (2) 特別支援学校では産業現場等における実習（以下「現場実習」）での体験を通して進路選択をするが、業務内容が性別にかかわらないことを、実習の体験と卒業生の進路先から学ばせたい。

3 指導計画（全7時間）

- (1) 第1次 働くことの意味を知る[2時間] （＜本時＞2／2時）
- (2) 第2次 性別にかかわらず自分に適した仕事を探す方法を知る[3時間]
- (3) 第3次 働くことにより豊かな生活を送ることができることを知る[2時間]

4 備考

第1次の第1時では、ワークシート①を活用し、まず家族や家の近所、あるいは学校の中の身近な人が、「誰が、どこで、どんな仕事」をしているのかを具体的に発表させる。次に、生徒本人が事前に体験している現場実習での仕事について「いつ、どこで、どんな仕事」をしたかを発表させ、世の中にはさまざまな仕事内容があることを確認する。その際、一般就労だけでなく施設での福祉就労も働くことに入ることをおさえる。

第1次の第2時が本時となり、働くことの大切さを確認させる。

第2次の第1時では、身近な人の仕事や実際の現場実習、卒業生の進路先などの仕事内容を確認したり分類したりしながら、性別にかかわらず自分に適した仕事を探していることに気づかせる。

第2次の第2時では 自分のやりたい仕事を確認し、相談できる専門機関について学ばせ、第3時では、働き続けるために必要な態度や心構えと就労支援の制度を学ばせる。

第3次では、第1時で考えたやってみたい仕事や就労活動について計画を立て、第2時で求職登録や現場実習での実践を振り返るという計画にしている。

5 展開例

高等部第1～3学年 職業学習指導案

(1) 本時の目標

働いた経験を通して、働くことのうれしさや苦しさについて考え、働くことは「人の役に立つ」、「自分の力を発揮する」、「お金を得る」という3つの大切な意味があることを知る。

(2) 準備物

ワークシート②、ワークシート③、学習スライド、学習スライドの写真

(3) 展開

学 習 活 動	教 師 の 指 導 ・ 支 援 等	学 習 評 価
1 前時の学習内容の確認をする。	☐ 社会には、さまざまな仕事があることを確認させる。	
働くことの大切さを知ろう。		
2 働いてつらいことについて話し合う。	☐ 働いて苦しいこと、つらいことについてグループ討議をさせる。【ワークシート②】 ☐ 発言が出ないようならヒントを提示する。	[技能] (ワークシート②) ・ワークシートに記入し発表することができる。
3 働いてうれしいことについて話し合う。	☐ 働いてうれしいこと、楽しいこと、よいことについてグループ討議をさせる。 【ワークシート②】 ☐ 発言が出ないようならヒントを提示する。	
4 働く意味を考える。	☐ 何のために働くのかを考え、発表させる。 【ワークシート②】 ☐ 発言が出ないようならヒントを提示する。 ☐ 働いてうれしいことを、3つの働く喜び(人の役に立つ、自分の力を発揮する、お金を得る)に分類させる。【ワークシート③】 ☐ 言葉による分類が難しい生徒については、スライドをプリントアウトした写真を渡し、視覚情報をヒントに分類するよう声をかける。 【スライド、写真】	[知識] (ワークシート②) ・働くことがさまざまな意味で大切なことを理解することができる。
働くことは、「人の役に立つ」、「自分の力を発揮する」、「お金を得る」の3つの意味があることに気づく。		
5 振り返りとまとめをする。	☐ 働くことはさまざまな意味で大切なことを確認する。 ☐ 次時は、自分に適した仕事について考えることを告げる。	

Point

既習事項(仕事の多様性)を確認し、本時では「働くことは、人の役に立つ(社会的自立)、自分の力を発揮する(自己実現)、お金を得る(経済的自立)」という3つの大切な意味がある」ということを確認する。

6 学習資料 1 (ワークシート①)

働くことの意味を知る ①

名前()

1 身近な人の仕事を書きましょう。

誰	どこ	どんな仕事

2 施設や企業の実習で働いた仕事を書きましょう。

いつ	どこ	どんな仕事

働くことの意味を知る ②

名前()

1 働いて苦しいこと、つらいことは何ですか。

現場実習や、身近で働く人を思い出しながら書きましょう

2 働いてうれしいこと、楽しいこと、よいことは何ですか。

現場実習や、身近で働く人を思い出しながら書きましょう

3 何のために働くのか考えましょう。

ヒント ②-1 働いて苦しいこと、つらいことは何ですか。

- ・体がしんどかった
- ・足や腰が痛かった
- ・仕事が自分に合わなかった
- ・仕事が難しかった
- ・言われた通りにできなかった
- ・その他
- ・初めてで緊張して疲れた
- ・みんなと離れて一人なのでさみしかった
- ・初めての人と話ができなかった
- ・自分の責任を果たせなかった
- ・単純作業で飽きてしまった

ヒント ②-2 働いてうれしいこと、楽しいこと、よいことは何ですか。

- ・がんばっただけの成果が出た
- ・自分の力が認められた
- ・給料日が楽しみ
- ・仕事の後に食事に行った
- ・上手にできると褒められた
- ・好きな物を買える
- ・いろんな人と知り合えた
- ・初めての人と話げた
- ・最初はできなかったけどだんだんとできるようになった
- ・責任ある仕事を任せられ、頼りにされた
- ・その他

ヒント ②-3 何のために働くのか考えましょう。

- ・生活のため
- ・社会の役に立つ
- ・健康のため
- ・家族のため
- ・いろいろな人と知り合いになる
- ・生きがいのため
- ・生活を楽しむ
- ・規則正しい生活のため
- ・社会参加
- ・自分らしく生きる
- ・その他

※ スライド(別紙)を提示する。

働くことの意味を知る ③

名前()

何のために働くのかを3つに分けましょう。

スライドをこの3つに分けてみましょう。

人の役に立つ

自分の力を発揮する

お金を得る

ヒント ③ 何のために働くのかを3つに分けましょう。

人の役に立つ（社会参加のため）

- ・ 責任が果たせた
- ・ 自分に力が認められた
- ・ ありがとうと感謝された
- ・ 社会の役に立つ
- ・ 責任ある仕事を任せられ、頼りにされた
- ・ その他

自分の力を発揮する（自己実現のため）

- ・ 上手にできると褒められた
- ・ 生きがいのため
- ・ 初めての人と話ができた
- ・ 自分らしく生きる
- ・ がんばっただけの成果が出た
- ・ 言われた通りに作業ができた
- ・ 最初はできなかったけれども、だんだんとできるようになった
- ・ その他

お金を得る（経済的自立のため）

- ・ 給料日がうれしい
- ・ お金のため
- ・ 実習の後でごちそうを食べた
- ・ 好きな物を買う
- ・ 生活のため
- ・ 生活を楽しむため
- ・ 健康のため
- ・ 家族のため
- ・ 規則正しい生活のため
- ・ その他

※ヒントのスライド②－3をプリントアウトした写真を、各項目に分類させる。

7 学習資料2 (ヒントのスライド②-3)



